

小田原市教育委員会刊行物のご案内

小田原市教育委員会では、市内各所に点在する文化財に関する文化財ガイドブックや、市内各所で行った発掘調査の成果をまとめた文化財調査報告書を刊行しています。

これらの刊行物は、小田原市内の図書館などの教育施設のほか、国会図書館などの国立の図書館・博物館、神奈川県内の図書館・博物館・各市町教育委員会および全国の主要大学などで閲覧することができます。

また、一部は購入することもできますので、小田原の郷土史探究の一助に是非ご活用下さい。

内容に関するお問い合わせ

小田原市文化財課 電話：0465-33-1715（直通）

購入に関するお問い合わせ

窓口購入先 〒250-8555 小田原市荻窪300番地
小田原市役所 4 階 行政情報センター 電話：0465-33-1288（直通）

お問い合わせ先 〒250-8555 小田原市荻窪300番地
小田原市文化財課 電話：0465-33-1715（直通）

※刊行物は行政情報センターにて販売しております。内容や購入に関するお問い合わせにつきましては、文化財課までご連絡ください。

～ 小田原の文化財を紹介するコンパクトなガイドブック ～

書 名	発行年	内 容	頁数	価格
小田原の文化財(新版)	2022	2001年刊行分の改訂版。オールカラーになり写真や解説も一新。小田原市内に所在する指定文化財148件と登録有形文化財25件に加え、小田原ゆかりの優れた建造物を掲載。小田原略年表・文化財マップ付きで文化財巡りやまち歩きにも最適。	220	1,100

～ 文化財調査報告書刊行一覧 ～

	書 名	発行年	内 容	頁数	価格
第1集	小田原市文化財調査報告書	1967	寺社・旧家に残る仏教美術に関する調査報告。	34	—
第2集	小田原市文化財調査報告書	1968	寺社・旧家に残る仏教美術と古文書関係の調査報告。	36	—
第3集	小田原市文化財調査報告書	1970	弥生時代中期の山ノ神遺跡を掲載。	34	—
第4集	小田原市文化財調査報告書	1971	緑釉陶器が出土した永塚小海端遺跡を掲載。	44	—
第5集	小田原市文化財調査報告書	1972	千代廃寺の中心地と想定される千代南原遺跡を掲載。	46	—
第6集	小田原の天然記念物－樹木－	1974	小田原市域で天然記念物となっている樹木を掲載。	48	—
第7集	久野一本松遺跡調査概報	1975	縄文時代の久野一本松遺跡を掲載。	22	—
第8集	小田原の道祖神	1976	小田原市域の道祖神の調査。	22	—
第9集	久野森下古墳	1979	多くの遺物が出土した久野森下古墳を掲載。	34	—
第10集	史跡小田原城小峯御鐘台西堀付近遺構	1980	小峯御鐘台西堀の表面調査報告。	46	—
第11集	久野諏訪の原清掃工場建設予定地遺跡発掘調査報告	1981	縄文時代の敷石住居跡を検出した遺跡。	52	—
第12集	感応寺址	1982	旧感応寺寺域の調査。近世の墓などを検出。	154	—
第13集	鉄砲ざし	1983	相模人形芝居の鉄砲ざしに関する報告。	72	—
第14集	本町小学校遺跡	1984	16世紀の鍵の手に曲がる堀やその中に展開する柱穴群を検出。	74	—
第15集	史跡小田原城城米曲輪	1984	蔵の跡や葵文瓦等が出土した御用米（城米）曲輪の試掘調査。	92	—
第16集	久野坂下窪遺跡	1985	縄文土器出土。久野1号墳の測量調査を掲載。	68	—
第17集	久野丘陵詳細分布調査	1985	久野丘陵上に78箇所のトレンチを設定して行った詳細分布調査。	60	—
第18集	小田原の道祖神	1985	小田原市域の道祖神の調査。	138	—
第19集	羽根尾堰ノ上遺跡	1986	鳥形土器などが出土した弥生時代後期の遺跡。	224	—
第20集	小田原の野佛たち	1986	小田原市域の野佛を掲載。	162	—
第21集	埋蔵文化財発掘調査報告書	1986	千代南原遺跡第Ⅱ・Ⅲ地点、永塚北畑遺跡、永塚一町畑遺跡、下曾我遺跡、国府津三ツ俣遺跡、中村原奥ヶ入遺跡、水之尾清水遺跡詳細分布調査、小田原城大外郭、北条幻庵居館址の調査報告を掲載。	136	—
第22集	千代南原遺跡第Ⅳ地点	1987	古墳時代前期を中心に多くの遺物が出土。	134	—
第23集	小田原城三の丸・大外郭	1988	小田原城の三の丸山本内蔵邸と総構の調査報告。総構では障子堀を検出。	68	—
第24集	埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅱ	1988	久野諏訪ノ原遺跡における確認調査と高田宮町遺跡出土の土器について掲載。	44	—
第25集	下馬下遺跡	1989	古墳時代中期の河川祭祀と思われる遺構を検出。	76	—
第26集	埋蔵文化財発掘調査報告Ⅲ	1989	縄文早期・弥生後期～平安時代の集落の調査。	100	—
第27集	愛宕山	1989	近世の井戸跡から出土した19世紀の焼継資料を含む多量の陶磁器を報告。	104	—
第28集	小田原城三の丸土塁	1989	小田原城三の丸を巡る大規模な堀と土塁の調査。	54	—
第29集	国府津三ツ俣遺跡	1989	弥生後期～平安時代の集落遺跡の調査。	72	—
第30集	小田原城三の丸大久保雅楽介邸跡	1990	小田原城三の丸に存在した家老大久保雅楽介邸跡の調査報告。	58	—
第31集	小田原の建造物	1990	小田原市域に点在する近世～近・現代の建造物を掲載。	68	—
第32集	埋蔵文化財発掘調査報告Ⅳ	1991	国府津三ツ俣遺跡や石垣山の空堀跡の調査報告を掲載。	120	—

	書 名	発行年	内 容	頁数	価格
第33集	小田原城焰硝曲輪	1990	焰硝曲輪の2枚の地業層より多量のかわらけが出土。	126	—
第34集	小田原城三の丸山本内蔵邸跡第V・VI地点	1991	三の丸家老屋敷の調査。屋敷を区画する堀等を確認。	94	—
第35集	史跡石垣山Ⅰ	1991	石垣山一夜城の詳細分布調査の記録。	38	—
第36集	小田原城三の丸大久保弥六郎邸跡	1992	16世紀の遺構が検出され、明染付・美濃灰釉陶器等多量の陶磁器が出土。	104	—
第37集	箱根口跡	1992	小田原北条時代の堀、江戸時代箱根口門石垣等の調査。	314	—
第38集	史跡石垣山Ⅱ	1992	石垣山一夜城の詳細分布調査の記録。文字瓦等の報告も収録。	38	—
第39集	小船遺跡試掘調査報告	1992	弥生時代中期～古墳時代後期の集落などの試掘調査報告。	74	—
第40集	小田原城三の丸箱根口門跡	1993	箱根口門櫓形遺構の調査。近世の櫓形石垣と小田原北条時代の整地層・堀・土坑等を検出。遺物は16世紀から明治時代後半まで出土し、明治後半期の小田原編年第七期は本地点の資料で設定。	140	—
第41集	小田原の年中行事	1993	小田原地方に伝わる伝統的な民俗行事を月毎に掲載。	116	—
第42集	小田原城下欄干橋町遺跡	1993	小田原北条時代から続く「外郎家」の屋敷地の調査。石組水路や掘立柱柱穴列等の遺構が検出され、遺物は16世紀～20世紀の陶磁器・瓦・かわらけ・漆器等が出土。	260	—
第43集	小田原城三の丸大久保雅楽介第Ⅱ地点	1993	大手門西側の武家屋敷の調査報告。出土遺物は約5,000点に及び、特に17世紀中葉から後半の一括遺物は小田原城陶磁器研究の基礎資料。土坑からの出土遺物は、第105集の大久保雅楽介邸跡第Ⅸ地点の遺物と接合。	168	—
第44集	史跡石垣山Ⅲ	1993	天守台の測量調査と石垣の検出作業において採集した瓦の報告。石垣山一夜城の瓦の様相を示す資料として重要。	42	—
第45集	史跡小田原城二の丸中堀Ⅰ	1993	史跡小田原城跡二の丸中堀の調査概要報告。小田原北条時代の障子堀を発見し、小田原城が中世城郭から近世城郭への変遷過程を知る上で重要な調査。	72	—
第46集	荻窪川根遺跡発掘調査報告	1993	縄文時代早期の集石を検出。遺物は押型文土器・捺糸文土器・石器などが出土。	50	—
第47集	小田原城下欄干橋町遺跡Ⅱ	1994	17世紀後半～18世紀の多量の陶磁器出土。	70	—
第48集	史跡小田原城二の丸中堀Ⅱ	1994	史跡整備に伴う発掘調査概要報告。小田原城の石垣の基本構造を解明。	98	—
第49集	小田原城下法雲寺跡	1994	小田原城下・法雲寺寺域の調査報告。戦国時代～近世の溝・土坑を検出し、比較的良好な陶磁器が出土。	110	—
第50集	天神山台遺跡	1994	御子柴型石斧など縄文草創期の石器群と縄文中期の集落の調査報告。	110	—
第51集	小田原城八幡山古郭本曲輪・元蔵跡	1994	近世初頭までに廃絶されたと考えられる堀と、平安時代の土坑を検出。	44	—
第52集	殿窪遺跡	1994	平安時代の堅穴住居跡群と中世の居館跡を検出。	96	—
第53集	小田原城新道遺跡	1994	三の丸堀を幕末に埋め立てて造った「新道」と三の丸南堀の調査。戦国時代の土坑等からは豊富な遺物が出土。	98	—
第54集	小田原城下欄干橋町遺跡Ⅲ	1994	幕末の宿屋の屋号である「内川屋」などが書かれた焼継資料が豊富に出土。	48	—
第55集	小田原城三の丸南堀第Ⅲ地点	1995	三の丸南堀の法面・石列等を検出。17世紀中葉の良好な陶磁器も出土。	96	—
第56集	小田原城下中宿町遺跡第Ⅰ地点	1995	小田原城下中宿町の調査。16世紀後半～幕末の遺物と16世紀後半の石列を検出。	46	600 残部僅少
第57集	史跡小田原城二の丸中堀Ⅲ	1995	史跡整備事業に伴う二の丸中堀（住吉堀）と御茶壺曲輪の調査概要報告。	64	—

	書 名	発行年	内 容	頁数	価格
第58集	久野第2号墳	1996	遺存度の良い石室から銀象嵌の鍔や金銅製の鞘などを含む良好な副葬品が出土。	94	—
第59集	小田原城下山角町遺跡第Ⅰ地点	1996	小田原宿の町屋の調査。18世紀初頭の陶磁器をはじめとする一括資料が出土。	66	—
第60集	小田原城小峯御鐘ノ台大堀切	1996	小田原城最大規模の堀切の調査。障子・横矢・土橋など小田原北条氏の築城技術の一端がうかがえる遺構を検出。	58	—
第61集	中里遺跡第Ⅲ地点	1997	弥生中期中葉の「中里式」標式遺跡の調査。弥生中期中葉の「須和田式」と古墳時代前期初頭の方形周溝墓49基などを検出。	146	—
第62集	小田原城三の丸御長屋跡第Ⅰ地点	1997	戦国期の堀、江戸期初頭の「大手口」にあたる石組水路を伴う道路などを検出。	102	700 残部僅少
第63集	物見塚古墳	1997	小田原市東部では数少ない古墳の貴重な調査。石室床面から金環・鉄鏃などが出土。	38	—
第64集	平成6年度緊急発掘調査報告書	1997	平成6年度に調査した5地点の報告。蘭花の銘款がある「香蘭社」・薩摩苗代川焼「沈壽官」・汽車土瓶など近代の製品も掲載。	264	3,500 残部僅少
第65集	下馬下遺跡第Ⅲ地点	1998	古墳時代中期の田下駄・木槌などの木製品が多量に出土した低湿地遺跡の調査報告。	82	800 残部僅少
第66集	平成7年度緊急発掘調査報告書	1998	戦国期の障子堀とその埋没過程を考察した鍛冶曲輪北堀Ⅲ、弥生後期の外来系土器を検出した香沼屋敷Ⅳなど3地点の調査報告。	98	800 残部僅少
第67集	小田原城下欄干橋町遺跡第Ⅳ地点	1998	方形堅穴遺構をはじめとする、16～19世紀の遺構・遺物を多数検出。戦国期を中心とした遺物の変遷を検討する上で必携の資料を掲載。	390	3,000
第68集	今井陣場跡・酒井陣場跡	1998	豊臣秀吉の小田原合戦の際の徳川家康と酒井家次陣場跡の調査。堀などを検出。	74	—
第68集	国指定史跡小田原城跡銅門復原工事	1999	小田原城の大手筋にあたる二の丸の表門「銅門」の復原工事報告書。	150	—
第69集	千代仲ノ町遺跡第Ⅳ地点	1999	弥生後期の東海・東京湾岸・中部高地系などの外来系土器を多数検出。「厨」銘墨書土器が出土するなど、足下郡家との関連性を想定させる資料。	166	—
第70集	小田原城下中宿町遺跡第Ⅲ地点	1999	小田原宿町屋の調査。19世紀代の遺物が多数出土。	122	1,500
第71集	小田原城下欄干橋町遺跡第Ⅴ地点	1999	「中村や」・「竹本や」などの焼継資料が出土。欄干橋町の変遷を考察する上で必携の資料。	154	1,500 残部僅少
第72集	小田原城三の丸大久保雅楽介第Ⅴ地点	1999	石組水路や石組・石垣などを検出。遺構の変遷や主軸の変化から中世～近世の小田原城三の丸の空間変遷を指摘。	90	800
第73集	千代仲ノ町遺跡第Ⅲ地点・平成8年度遺跡範囲確認調査(1)	1999	千代仲ノ町第Ⅲ地点の発掘調査及び市内各所11ヶ所の範囲確認調査報告。	48	—
第74集	平成8年度遺跡範囲確認調査(2)	1999	障子堀が検出された伊羅窪遺跡ほか小田原城周辺の3ヶ所の試掘調査報告。	46	500 残部僅少
第75集	小田原城三の丸服部孝太郎邸跡第Ⅰ地点	1999	16世紀～18世紀にかけての遺構・遺物を検出。当該期の三の丸丘陵部の土地利用や変遷を考える上で貴重な調査例。	38	500 残部僅少
第76集	二の丸御殿試掘調査概報	1999	二の丸主要部の試掘調査報告。二の丸玄関跡を一部確認したほか、元禄16年(1703)に大地震で焼失した御殿の焼土層を確認。	20	500 残部僅少
第77集	小田原城三の丸東堀第Ⅳ・Ⅴ地点	2000	寛文年間(1660頃)の小田原城改修工事の時に堀幅を広げ、石垣を積み直した状況を確認し、城絵図や文献史料の内容を裏付ける貴重な成果。	178	1,500
第78集	小田原城瓦長屋跡第Ⅰ地点	2000	小田原城下瓦長屋の戦国時代から江戸時代・近現代へと続く土地利用の変遷を解明。作家吉川英治の祖父もこの辺に住んでいたという逸話。	70	500 残部僅少

	書 名	発行年	内 容	頁数	価格
第79集	久野多古境遺跡第Ⅲ地点	2000	久野諏訪ノ原古墳群の新たな古墳が発見された調査。弥生時代中期の遺物も多数出土し、弥生時代の大集落の存在を想定。	44	400 残部僅少
第80集	小田原城三の丸大久保雅楽介第Ⅵ・Ⅶ地点	2000	宝永4年（1707）の富士山噴火の際に廃棄された陶磁器がまとまって出土し、年代が確かである一括資料。小田原北条時代の小田原城を考える上で重要な建物跡・道路跡なども発見。	196	1,500 残部僅少
第81集	平成9年度遺跡範囲確認調査報告書	2000	小田原城から久野諏訪ノ原古墳群、千代廃寺周辺まで、開発工事に先立って行った市内20箇所の遺跡範囲確認調査報告。	82	700 残部僅少
第82集	千代北町遺跡第Ⅶ地点	2000	千代廃寺の寺域に想定されている地点の発掘調査報告。千代廃寺に使われたと考えられる瓦が多数出土。また、弥生時代や古墳時代の住居跡が発見され、千代廃寺が建立される前の千代の土地利用を考える上で重要な遺跡。	64	600 残部僅少
第83集	前川右近屋敷遺跡	2000	弥生時代後期～古墳時代前期の砂丘上に広がる集落跡の調査。	56	—
第84集	小田原城下筋違橋町遺跡第Ⅱ地点	2001	小田原宿町屋の調査。元禄16年（1703）と推定される焼土を伴う土坑や、明治～大正期の重複する土坑から多くの遺物が出土し、近代の陶磁器変遷の一端を明らかにした遺跡。	98	800 残部僅少
第85集	高田北之前遺跡第Ⅰ地点	2001	7世紀末～8世紀の古代集落跡の調査報告。竪穴住居跡2・掘立柱建物跡2・井戸2のほか、中世の溝なども検出。	62	700
第86集	平成10年度遺跡範囲確認調査	2001	平成10年度に実施した22地点の遺跡範囲確認調査と1件の立会調査報告。	102	800 残部僅少
第87集	千代北町遺跡第Ⅷ地点	2001	弥生時代の方形周溝墓の調査報告。付編として千代北町遺跡第Ⅲ地点の方形周溝墓および出土遺物を掲載。	48	500 残部僅少
第88集	小田原城八幡山古郭南曲輪	2001	初期の小田原城の中心地と想定されている八幡山古郭の調査。今回の調査で16世紀の古い段階から形成された曲輪であることを確認。	38	—
第89集	小田原城総構	2001	小田原城を囲む総構4箇所の調査報告。上二重外張第Ⅰ地点などでは障子堀を検出し、総構全体の調査成果も集大成。	52	—
第90集	平成11年度試掘調査	2002	平成11年度に実施した16地点の試掘調査報告。中でも中里遺跡や千代仲ノ町遺跡では良好な一括遺物が出土。	74	700 残部僅少
第91集	小八幡東畑遺跡第Ⅲ地点	2002	古墳時代後期～古代の調査。灰釉陶器や緑釉陶器などが出土したほか、近世の溝などに地震による地割れの痕跡を確認。	50	500
第92集	小田原城下天神下跡第Ⅱ地点	2002	小田原城下の武家地の調査。木杭が多数打ち込まれた中世の溝や、多量の木製品が出土した近世の溝は注目すべき発見。	104	—
第93集	小田原城三の丸南堀第Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ地点	2002	小田原城の三の丸南側を巡る堀3地点の調査報告。第Ⅳ地点では堀底、第Ⅴ・Ⅵ地点では南堀で初めて石垣が検出されるなど、三の丸南堀の構造を解明。	92	—
第94集	小田原城三の丸東堀第Ⅶ地点	2002	小田原城の三の丸東側を巡る堀の調査。3段に構築された石垣が検出されたほか、削平されていた土塁の痕跡を確認。	42	600 残部僅少
第95集	小田原城三の丸箱根口跡第Ⅳ地点	2002	東海道を面した三の丸南側の虎口である箱根口の調査。17世紀初頭の小田原城近世化工事前後に堀から道路への変遷を確認。	46	500 残部僅少
第96集	小田原城下香沼屋敷跡第Ⅶ地点	2002	二代目北条氏綱の孫娘と言われる香沼姫の屋敷跡と伝わる地点の調査。第Ⅰ地点から続く近世の屋敷区画溝を確認。	42	—
第97集	小田原城三の丸大久保雅楽介邸第Ⅸ地点	2002	小田原城三の丸の家老屋敷の調査。中・近世の遺構が多数検出され、屋敷境の土地利用の一端が判明。	58	—

	書 名	発行年	内 容	頁数	価格
第98集	池上森通遺跡第Ⅰ地点	2002	古代の井戸から出土した柄付広鉢の柄部未製品は西湘地域で初めての事例。鎌倉時代中期の御家人である池上氏の居館跡の存在を推察させる大溝も検出。	34	400
第99集	千代南原遺跡第Ⅷ地点	2002	千代台地の裾に広がる低地部分の調査報告。弥生時代末～古代の遺物が多数出土し、中でも瓦や木製品は千代廃寺との関連を考える上でも重要な資料。	50	600 残部僅少
第100集	小田原城三の丸藩校集成館跡第Ⅲ・Ⅳ地点	2002	小田原城三の丸に位置した藩校跡地の調査。三の丸域での最大規模の調査で、中世～近世の堀や井戸・石組遺構などの多数の遺構が検出されたほか、高級磁器である鍋島製品や中国製品・かわらけなどの遺物も多数出土。	788	—
第101集	久野一本松・久野天野藪・久野坂下窪遺跡	2002	縄文時代中・後期の集落跡の調査。多数の住居跡とともに多量の縄文土器が出土し、小田原市域の縄文資料として重要。	328	2,000
第102集	小船森遺跡	2002	古墳時代の集落・古墳のほか、中世の居館跡を中心とする遺跡の調査。弥生時代後期の穿孔土器や、4,838枚におよぶ中世の備蓄銭なども出土。	250	—
第103集	小田原城下中宿町遺跡第Ⅳ地点 小田原城三の丸大久保雅楽介邸跡第Ⅷ地点	2003	江戸時代初期の大手口道路を検出。また、江戸時代後半には旅籠の裏庭のゴミ処理空間であったことが判明した調査。	124	—
第104集	永塚北畑遺跡第Ⅱ地点 永塚長森遺跡第Ⅰ地点	2003	道路改良工事に伴う幅2m・長さ500mの調査で、弥生時代後期～古代の集落跡を検出。弥生時代末～古墳時代初頭の方形周溝墓も2基検出。	76	—
第105集	小田原城三の丸大久保雅楽介邸跡第Ⅹ地点	2003	大手広小路に面する石垣を検出。大型の廃棄土坑からは17世紀の陶磁器がまとめて出土し、大久保雅楽介邸跡第Ⅱ地点で出土した遺物とも接合。	146	1,200
第106集	千代東町遺跡第Ⅱ地点	2003	弥生時代後期以降に構築された大規模な人工盛土遺構を確認。巨大な前期古墳であった可能性を指摘。	102	—
第107集	平成12年度試掘調査	2003	小田原城周辺5箇所を含む市内28箇所の試掘調査・工事立会・確認調査報告。下曽我遺跡が本格調査に至った試掘調査の成果や、市指定史跡中世集石墓についても報告。	112	—
第108集	谷津山神遺跡第Ⅰ地点	2003	小田原市内では貴重な旧石器時代の石器がまとめて出土した初めての遺跡。箱根東麓地方の旧石器を検討する上では欠かせない貴重な成果。	136	—
第109集	小田原城下本町遺跡第Ⅰ地点	2003	16世紀～17世紀初頭の大手口関連の遺跡。東海道に面した町屋が検出され、敷地内での土地利用形態の一端が判明。また、太平洋岸では貴重な岸岳系初期唐津製品が出土。	152	—
第110集	小田原城三の丸・城下 城下日向屋敷跡第Ⅰ地点 三の丸元蔵堀第Ⅱ地点 三の丸元蔵跡第Ⅱ・Ⅲ地点 三の丸幸田口跡第Ⅰ・Ⅳ地点 三の丸東堀第Ⅲ地点 三の丸大久保雅楽介邸跡第Ⅳ地点 三の丸大久保弥六郎邸跡第Ⅱ地点 三の丸新堀第Ⅵ地点	2003	小田原城三の丸及び城下における8地点の調査報告。三の丸の元蔵堀・東堀の構造の一端を確認することができたほか、幸田口跡では16世紀の堀、17世紀の石組暗渠遺構を検出、新堀第Ⅵ地点では16世紀の障子堀が検出されるなど、各遺跡で小田原城の構造を解明する上で特筆すべき成果。	276	—
第111集	下馬下遺跡第Ⅳ地点	2003	5世紀後半代の須恵器を含む土師器・石製模造品がまとめて出土。遺物の集積した出土状態から祭祀遺構であった可能性を指摘。	104	—
第112集	西大友川窪遺跡 国府津三ツ俣遺跡第ⅩⅣ地点	2003	中世の大友郷に比定され、方形居館の内部に相当する可能性がある西大友川窪遺跡から、同安窯の青磁皿や古瀬戸灰釉香炉が出土。また、国府津三ツ俣遺跡では弥生時代後期～平安時代の遺構を検出。弥生時代の溝は方形周溝墓の可能性が高いと指摘。	58	—

	書 名	発行年	内 容	頁数	価格
第113集	千代北町遺跡第Ⅴ・Ⅵ地点 千代仲ノ町遺跡第Ⅱ・Ⅴ地点 千代南原遺跡第Ⅵ地点 高田宮町遺跡第Ⅱ地点 国府津舞台遺跡	2003	森戸川西岸に広がる千代・高田・国府津5箇所の調査報告。千代南原遺跡第Ⅵ地点の調査では、直径50mを越える古墳時代前期の古墳周溝が検出され、小田原市域における古墳の始まりを検討する上で重要な資料。	118	—
第114集	久野北側下遺跡第Ⅰ地点 久野北側上遺跡第Ⅰ地点 久野北窪遺跡第Ⅱ・Ⅳ地点	2003	久野北側下遺跡では近世後半～現代に使用されていた道路や井戸を確認、久野北側上遺跡では縄文時代後期（堀ノ内・加曽利B）の遺構・遺物を検出、久野北久保遺跡でも縄文時代後期（加曽利B）の遺構・遺物が検出されたほか、中・近世の狩野街道脇道も確認。	62	—
第115集	小田原城三の丸元蔵跡第Ⅳ地点	2003	二の丸蓮池に沿った近世の道路（砂利敷遺構）が検出されたほか、小田原北条時代の蓮池と考えられる堆積層を確認。	46	—
第116集	大久保陣場跡第Ⅰ地点	2004	天正18年（1590）の小田原合戦に伴う徳川家康の重臣大久保忠世の陣場跡。16世紀の遺構・遺物は少ないものの13世紀～18世紀の遺物が出土。	64	600 残部僅少
第117集	平成13年度試掘調査	2004	縄文中期の住居が検出された石橋日影遺跡、6世紀後半の住居跡が検出された千代仲ノ町遺跡、8世紀後半を中心とする土師器・須恵器が79点一括して出土した国府津三ツ俣遺跡、近世以前東海道の硬化面が確認された筋違橋町遺跡など、試掘調査を含む27地点の調査報告。	158	1,300
第118集	小田原城総構伝肇寺西第Ⅰ地点	2004	小田原城総構の全体像を初めて確認することができた調査の報告。16mを超える障子堀と土塁が一体となって確認され、石垣を用いない東国特有の築城術は圧巻。	92	—
第119集	千代南原遺跡第Ⅴ地点	2004	小田原市で2遺跡目となる弥生時代終末～古墳時代前期の銅環1点が出土したほか、古墳時代後期の住居跡から良好な一括資料が出土。奈良・平安時代の遺物としては千代廃寺に関わる瓦も出土。	124	1,100
第120集	久野多古境遺跡（第1分冊―第Ⅰ・Ⅱ地点）	2004	縄文時代草創期～近世の複合遺跡の報告。第Ⅰ地点では古墳時代後期～奈良時代の集落跡が確認されているほか、火葬骨が充填された12世紀中葉の常滑三筋壺が塚から出土。第Ⅱ地点では弥生時代中期後半の方形周溝墓群を確認。	154	—
	久野多古境遺跡（第2分冊―第Ⅳ地点）	2004	弥生時代中期宮ノ台式土器を含む方形周溝墓8基と須和田式土器を含む方形周溝墓1基を確認。このほか、縄文時代～近世の遺構・遺物を確認。	96	—
第121集	小田原城下香沼屋敷跡第Ⅲ・Ⅳ地点	2004	小田原城下香沼屋敷跡第Ⅲ・Ⅳ地点の報告。第Ⅲ地点では、弥生時代中期の住居跡が2軒、後期の住居跡を33軒検出。また、中世では第Ⅳ地点で小田原城三の丸鍛冶曲輪北堀や区画溝と思われる遺構を検出。	128	—
第122集	久野山神下遺跡第Ⅴ・Ⅵ地点 中村原前畑遺跡第Ⅱ・Ⅲ地点	2004	久野山神下遺跡第Ⅴ・Ⅵ地点と中村原前畑遺跡第Ⅱ・Ⅲ地点4遺跡の報告。久野山神下遺跡第Ⅴ地点では、弥生時代中期後葉の方形周溝墓と住居跡、第Ⅵ地点では13世紀～16世紀の陶磁器が出土し、中世の掘立柱建物跡などを検出。また、中村原前畑遺跡第Ⅱ地点では、6世紀末～7世紀後半の住居跡が検出され、第Ⅲ地点では縄文後期曾谷式の土器が出土。	110	—
第123集	久野北側下遺跡第Ⅱ・Ⅳ・Ⅴ地点 久野北久保下第Ⅰ地点	2005	久野北側下遺跡第Ⅱ地点では、縄文時代後期の敷石住居跡をはじめ、弥生時代～平安時代の遺構を多数検出。また、小田原で初めてとなる縄文時代後期の筒形土偶が出土するなど、多大な成果。	130	—

	書 名	発行年	内 容	頁数	価格
第124集	小八幡東畑遺跡第Ⅱ地点	2005	相模湾から400m内陸に入った標高5mの砂丘上の遺跡から弥生時代中期の方形周溝墓4・外周25mを測る7世紀の古墳1・古代の住居跡47・掘立柱建物跡10・井戸1など多くの遺構を検出。	258	2,500 残部僅少
第125集	小田原城下慈眼寺跡第Ⅰ地点	2005	「文久図」に「慈眼寺」と記された境内地の調査報告。「慈眼寺」の存在を示す朱書きのある焼継資料なども出土。	122	800 残部僅少
第126集	久野諏訪ノ原遺跡第Ⅲ地点	2005	住居跡等は検出されなかったが、縄文時代中期の土器が多量に出土したことから、縄文時代中期の久野丘陵で人々が活発に活動していた痕跡を確認。	126	800 残部僅少
第127集	平成14年度試掘調査(1) 北ノ窪立畑遺跡第Ⅰ地点	2005	周知の遺跡外で工事中に発見された北ノ窪立畑遺跡の試掘調査報告。弥生時代後期の住居跡が重複して多数検出されたほか、弥生時代前期末～中期初頭の土器が出土。	70	600 残部僅少
第128集	平成14年度試掘調査(2)	2005	平成14年度に実施した31箇所の試掘調査と立会調査5件の調査報告。小田原で2例目となる三筋壺が出土した下堀宮ノ脇遺跡第Ⅰ地点、その後の本格調査で多くの遺構・遺物が検出された久野蓮光地遺跡第Ⅰ地点・千代北町遺跡第Ⅸ地点・府川諏訪ノ原遺跡第Ⅰ地点の調査成果などを掲載。	164	1,300
第129集	小田原城三の丸南堀第Ⅶ地点	2005	小田原城三の丸南側に位置する南堀の調査で、1mの高さを有する石垣を検出。三の丸南堀に伴う土塁の下層からは、16世紀後半の遺構が重複して検出され、中世後期の土地利用を考える上で重要な調査成果。	86	—
第130集	小田原城三の丸山本内蔵邸跡第Ⅹ地点	2005	小田原藩家老山本内蔵邸跡の調査。幸田口門からの登城ルートとの境界を示す石垣や石組暗渠水路などを検出。近世初頭の堀や16世紀代の乱杭を伴う溝状遺構群なども検出され、16世紀以降の土地利用の変遷を考える上でも重要。	76	600 残部僅少
第131集	久野蓮光地遺跡第Ⅰ地点	2005	古墳時代前期の土坑や奈良時代の住居跡が検出され、古墳時代初頭～奈良時代の集落を確認。	40	500 残部僅少
第132集	高田南原遺跡第Ⅰ地点	2005	古墳時代後期～平安時代の遺跡。住居跡や井戸・溝状遺構などが確認され、平安時代以降に起こった地震の痕跡を明瞭に確認。	54	500
第133集	千代南原遺跡第Ⅸ・Ⅹ地点	2005	両地点ともに低湿地に位置する遺跡で、多量の木製品が出土。特に第Ⅹ地点では杭列や加工木材が数多く確認され、当時の加工技術を知る上でも重要。	58	—
第134集	永塚下り畑遺跡第Ⅵ地点	2005	古墳時代後期～平安時代の堅穴住居跡、古墳時代前期の方形周溝墓などを検出。方形周溝墓の存在は、南側に隣接する千代遺跡に広がる方形周溝墓との関連性が注目される資料。	96	800
第135集	平成15年度試掘調査(1)	2006	平成15年度に実施した試掘調査30件、工事立会で確認した遺跡1件、国指定史跡内における試掘調査1件の報告。	158	1,000
第136集	千代北町遺跡第Ⅹ地点	2006	古墳時代後期の堅穴住居跡を重層的に確認。さらにこの遺構の下部からは方形周溝墓が検出され、永塚台地と千代台地に展開する方形周溝墓群の関係や占地を考える上で注目される資料。	86	800
第137集	千代吉添遺跡第Ⅰ～Ⅳ地点	2006	弥生時代後期～古墳時代の環濠と考えられる溝状遺構を検出。遺物は、西遠江・東遠江・中部高地系土器を含む弥生時代後期の土器が出土。また、南関東地方において、最古期に属する鍛冶関連遺物の一括廃棄された遺物集中を検出。	168	1,000 残部僅少

	書 名	発行年	内 容	頁数	価格
第138集	小田原城八幡山古郭南曲輪東堀第Ⅱ・Ⅲ地点	2007	八幡山古郭南曲輪東堀の南北法面を検出し、城絵図などから想定されていた位置に堀が展開することが判明。第Ⅱ地点では、法面最上部に柵の支柱と推定されるピット群を検出。	68	—
第139集	西大友北畑遺跡第Ⅰ地点	2007	奈良時代に四天王寺の封戸であった伴（大伴）郷内に位置する地点で、古墳時代後期～平安時代の竪穴住居跡を検出。足柄平野における当該期の拠点的な集落の一角を確認することができた重要な調査。	92	—
第140集	久野蓮光地遺跡第Ⅱ地点	2007	古墳時代前期の竪穴状遺構や方形周溝墓を検出。鎌倉時代初頭の井戸状遺構も検出され、小田原市域では数少ない中世前期の資料として大変貴重な発見。	52	—
第141集	池上前畑遺跡第Ⅰ地点	2007	断層により陥没した凹地から縄文時代早期の土器と石器・礫などの遺物集中を確認。黒曜石製石核や剥片も多く出土したことから、黒曜石を素材とした石器製作跡であったことが判明。また、石皿と磨石・敲石などが多く出土したことから、植物性食料の生産活動が行われたと推定。	58	—
第142集	平成15年度 試掘調査(2) 久野北久保上遺跡第Ⅰ地点 谷津山神遺跡第Ⅲ地点	2007	久野北久保上遺跡第Ⅰ地点では、竪穴住居跡1軒のほか、住居に伴うと考えられる埋甕8基などが検出され、縄文時代中期を中心とした大規模集落の一部を確認。谷津山神遺跡第Ⅲ地点は、削平を受けていたため遺構は未検出。	88	—
第143集	酒匂浜ノ台遺跡第Ⅰ地点	2008	酒匂浜ノ台遺跡における初めての発掘調査。古墳時代前期の住居跡1軒が検出され、古墳時代前期の集落の存在が判明。中近世の陶磁器も出土し、周囲に中世以来続く宿場に関する遺跡の存在も想定。	38	—
第144集	小田原城総構 鉄砲矢場第Ⅰ地点	2008	小田原城総構の堀と土塁を検出。土塁は、平坦部を造り出し、版築していることが判明。堀は、堀底まで調査できなかったが、傾斜角が50度を測り、他の堀と比べるとやや緩いことを確認。	34	—
第145集	千代南原遺跡第ⅩⅠ・ⅩⅢ・ⅩⅣ地点	2008	古代の千代台地南側低地部における土地利用の状況を確認。出土した木製品からは、古代の加工技術の一端が判明。また、弥生時代後期～古墳時代前期のト骨は、神奈川県西部で初の検出。	82	—
第146集	小田原城下 本町遺跡第Ⅲ地点	2008	16世紀前半に構築されたと推定される大規模な堀を検出など、戦国時代～江戸時代初頭の土地利用がめまぐるしく変遷していたことが判明。	270	—
第147集	小田原城下 法雲寺旧境内遺跡第Ⅱ地点	2008	16世紀前葉の遺物を含む堀を検出。この堀は、法雲寺旧境内遺跡第Ⅰ地点で検出された2号溝と同一であると考えられ、当該地をめぐる堀の存在が判明。	58	—
第148集	小田原城総構 鉄砲矢場第Ⅱ地点	2008	小田原城総構の堀東側法面と土塁が検出され、総構の位置を確認できた調査。	38	—
第149集	小田原城三の丸 山本内蔵邸跡第Ⅸ地点	2009	三の丸北側の虎口である幸田口門付近に位置する山本内蔵邸の調査。城絵図にも描かれていない堀が検出されるなど、幸田口門虎口の変遷が判明。	96	—
第150集	小田原城下 天神下跡第Ⅲ地点	2009	19世紀末～20世紀初頭の良好な一括資料が出土し、近代陶磁器研究における重要な成果。	116	—
第151集	千代南原遺跡第ⅩⅦ地点	2009	縄文土器、弥生時代後期～古墳時代前期の土器、古墳時代後期の土師器・須恵器、奈良・平安時代の土師器・須恵器・瓦・灰釉陶器、奈良・平安時代～中世の木製品等が出土。	50	—

	書 名	発行年	内 容	頁数	価 格
第152集	平成16年度試掘調査	2009	平成16年度に実施した47箇所の試掘調査報告。小田原城三の丸の藩士屋敷と藩の施設に関連する遺構が見つかった小田原城三の丸幸田口跡第Ⅴ地点、小田原城三の丸弁財天跡第Ⅳ地点、千代南原遺跡第ⅩⅤ地点、総世寺裏古墳などの調査成果などを掲載。	192	—
第153集	小田原城三の丸 幸田口跡第Ⅴ地点	2010	小田原城三の丸の北側虎口である幸田口門西側において、15世紀後葉以降に構築された総数5面の生活面が確認され、柱穴の6号遺構から16世紀後半の金箔かわらけが出土。	98	—
第154集	千代南原遺跡第ⅩⅥ・ⅩⅧ・ⅩⅩ地点	2010	第ⅩⅥ地点では弥生時代後期～古墳時代前期の竪穴住居跡12軒のほか、弥生時代後期前半の完形壺や古代の千代廃寺の瓦、第ⅩⅧ地点では弥生時代後期～古墳時代前期の竪穴住居跡5軒のほか、弥生時代後期の片口鉢、第ⅩⅩ地点では弥生時代後期～古墳時代前期の竪穴住居跡8軒のほか、古代の千代廃寺に関連する灯明具（土師器坏）をそれぞれ発見。	264	—
第155集	史跡小田原城跡 馬出門	2010	二の丸馬屋曲輪整備事業の一環として実施した馬出門整備事業に伴う発掘調査、櫛形石垣復元整備工事、馬出門櫛形の門・土堀の復元的整備工事の内容を報告。	302	—
第156集	小田原城三の丸 弁財天跡第Ⅱ地点	2012	16世紀以降の生活面を5面検出。第1面上層から検出された屋敷境の道路・土塁・側溝である1～5号遺構の検出は、三の丸武家屋敷の様相を明らかにできた良好な資料。	102	—
第157集	小田原城下 鳳巢院境内遺跡第Ⅰ地点	2012	丘陵部の小田原城下において16世紀以降の遺構・遺物が検出され、古い段階からの土地利用されていることが判明。	48	—
第158集	国府津三ツ俣遺跡第ⅩⅩⅠ地点	2012	古墳時代前期後半の前方後方形周溝墓から供献用の底部穿孔の二重口縁壺が出土したほか、古代の竪穴住居跡・掘立柱建物跡などの検出から集落が形成されていたことが判明。	116	—
第159集	史跡小田原城跡 馬屋曲輪	2014	史跡整備事業に伴う馬屋曲輪の調査概要報告。馬屋及び大腰掛の跡を確認した。また、馬屋曲輪が形成される前の寛永年間以前の遺構や小田原城廃城後の遺構も確認することができ、馬屋曲輪の変遷過程を知る上で重要な調査。	332	—
第160集	史跡小田原城跡 八幡山古郭東曲輪整備事業報告書	2014	国指定史跡小田原城跡八幡山古郭東曲輪にて実施された整備事業の報告。八幡山古郭東曲輪第Ⅰ地点の発掘調査成果についてもその概要を掲載している。	106	—
第161集	小田原城三の丸 弁財天跡第Ⅳ地点	2012	中世～近代の生活面が5面検出され、16世紀前半の第5面は居住空間、16世紀第3四半期の第4面は建物と鍛冶関連遺構、16世紀第4四半期の第3面は広場もしくは道路、近世～近代の第1・2面は居住空間としての土地利用が判明。	138	1,000 残部僅少
第162集	千代南原遺跡第ⅩⅩⅢ地点	2012	古墳時代前期の前方後方形周溝墓から良好な一括資料となる土器が多量に出土し、足柄平野における古墳成立期の様相を考える上で極めて重要な資料。	150	—
第163集	別堀十二天遺跡第Ⅱ地点	2013	弥生時代後期～古墳時代前期の竪穴住居跡6軒、大型溝1条などを検出。遺物では、静岡県東部からの搬入品と推定される古墳時代前期の大型の土師器鉢が注目される。	94	800
第164集	千代南原遺跡第ⅩⅩⅠ・ⅩⅩⅡ・ⅩⅩⅣ地点	2013	千代南原遺跡の3地点の調査。中でも第ⅩⅩⅣ地点では、平安時代の千代寺院跡に関連する主要建物跡の版築を伴う基礎地業と大型掘立柱柱穴が初めて検出され、極めて重要な資料。	170	1,200

	書 名	発行年	内 容	頁数	価 格
第165集	元蔵跡 第Ⅱ地点	2013	本調査地は小田原城三の丸内に位置する。今回の調査では、江戸時代1面(第1面:18世紀後半～19世紀後半)と小田原北条時代1面(第2面:16世紀後半)の2面にわたる遺構面を調査した。このうち、第1面では19世紀前半と考えられる堅穴状遺構が、第2面では16世紀後半と考えられる石敷遺構と礎石、堅穴状遺構などが検出された。	102	—
第166集	千代吉添遺跡第Ⅴ地点	2014	弥生時代後期～古墳時代前期の堅穴住居跡7軒と、中世以降に属するピットを中心とした遺構が検出された。	106	1,000
第167集	千代仲ノ町遺跡第Ⅸ地点	2014	古墳時代後期の堅穴住居跡3軒、溝、土坑などを検出。遺物では、中国産青磁鎬蓮弁文碗が出土した。中世段階の千代地域に有力者が存在した可能性を示す資料。	92	1,000
第168集	小田原城三の丸南堀第Ⅷ・Ⅸ地点	2014	近代に埋められた三の丸南堀覆土を確認。現存する土塁との関係を確認した調査報告。	58	—
第169集	千代東町遺跡第Ⅴ地点	2014	弥生時代後期後半の溝から完形の壺形土器などが出土。調査事例が少ない千代遺跡群の北東部を知るうえで貴重な報告。	66	700 残部僅少
第170集	小田原城総構 城下張出第Ⅴ地点	2014	総構堀の掻揚げの土層、段切り状遺構を確認。総構の土塁構築方法を知る上で重要な成果。	38	500 残部僅少
第171集	平成17年度試掘調査	2015	平成17年度に実施した試掘調査26件、工事立会で確認した遺跡3件の報告。	110	1,000 残部僅少
第172集	小田原城三の丸新堀第Ⅶ・Ⅷ地点	2015	三の丸新堀の南側法面、堀底、堀障子を確認。堀障子の上面には水切り状の溝状遺構が検出された。堀底に畝状に残した高まりの構築が特徴的で、調水施設の可能性が示唆された貴重な報告。	50	—
第173集	千代北町遺跡第Ⅻ地点	2015	奈良・平安時代の千代寺院に関連する整地層から瓦を多量に確認したほか、千代地域で初めてガラス小玉が出土。弥生後期～古墳前期では堅穴住居跡を確認した調査報告。	80	—
第174集	別堀前田遺跡第Ⅰ地点	2015	古墳時代前期の溝状遺構から口を開けた水鳥文様を交互に配置した銅鏡が出土したほか、木製品集中を確認した調査報告。	70	—
第175集	早川石丁場群関白沢支群分布調査報告書	2015	平成19年度から平成25年度にかけて実施された詳細測量分布調査の報告。4箇所の石材集中部を有していることを確認し、7種類の刻印が存在することを示す資料。	174	—
第176集	高田宮町遺跡第Ⅲ地点	2016	14軒の堅穴住居が重複し、全国的に類例が1例しかない弥生時代後期～古墳時代前期の完形の多口壺が検出され、極めて重要な資料。	106	1,000 残部僅少
第177集	小田原城下香沼屋敷跡第Ⅷ地点	2016	弥生時代後期～古墳時代前期、16世紀末～18世紀前葉の遺構・遺物が重層的に検出された。本地点は香沼屋敷の屋敷内に位置すると考えられ、土坑や柱穴列、焼土などを確認した調査報告。	92	900 残部僅少
第178集	別堀十二天遺跡第Ⅷ地点	2016	弥生時代後期～古墳時代前期の周溝墓と考えられる大型溝から勾玉形の滑石製模造品が出土したほか、近世以降では井戸や土坑を確認した。	76	800 残部僅少
第179集	史跡小田原城跡御用米曲輪発掘調査概要報告書	2016	戦国期の建物群とともに、庭園・石組水路等の遺構が検出されたほか、幕府城米を納めた米蔵や瓦積堀が見つかり、近世御用米曲輪の曲輪取りが明らかになった調査。	440	—
第180集	千代仲ノ町遺跡第Ⅹ地点	2017	弥生時代後期～中・近世にかけての集落跡の調査。各時代の堅穴住居跡、奈良・平安時代と中・近世以降の掘立柱建物跡などを検出。弥生時代後期の住居跡から、市内9例目となる片口鉢が出土。	114	1,000

	書 名	発行年	内 容	頁数	価 格
第181集	平成18年度試掘調査	2017	平成18年度に実施した41地点の試掘調査報告。うち11地点が小田原城とその城下関連遺跡。天神山遺跡第Ⅱ地点では近世の遺物が出土。	152	1,500 残部僅少
第182集	千代寺院文化財調査報告書	2017	千代寺院跡（通称「千代廃寺」）について検討した成果をまとめた報告書。昭和26年の遺物発見から現在の発掘調査に至るまでの成果に加え、文字史料・文献史料からの考察も収録。	246	—
第183集	小田原城天守模型等調査研究報告書	2017	平成25・26年度に小田原城天守模型等調査団が実施した小田原城天守模型の研究報告書。現存する小田原城天守模型関連の資料のほか、全国の天守模型の類例調査などの結果も収録。	106	2,000
第184集	小田原城下天神下跡第Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ・Ⅶ地点	2018	中世を中心とした4地点の調査報告を収録。16世紀の礎石や根固め石、木杭を伴うピットなどの居住空間を検出。近世の木製品も多く出土。	180	2,000
第185集	小田原中宿町遺跡第Ⅵ地点	2018	16世紀前半～18世紀後半の屋敷割が南北軸を基準としていたことが明らかとなった調査。	182	2,000
第186集	平成19年度試掘調査	2019	平成19年度に実施した試掘調査47件、工事立会で確認した遺跡1件の報告。	182	2,000
第187集	小田原城下欄干橋町遺跡第Ⅹ地点	2019	16世紀末～17世紀初頭の石組水路が検出され、屋敷地を区画する遺構と推定される。また市内で初めて「元文一分判金」が出土した調査。	280	3,000
第188集	小八幡酒匂境遺跡第Ⅱ地点	2019	弥生時代後期～近代にかけての遺構と遺物が検出され、13世紀と推定される貴重な中国産青白磁梅瓶と龍泉窯系青磁縞蓮弁文碗の破片が出土した調査。	90	1,000
第189集	史跡小田原城跡住吉橋保存処理報告書	2019	平成27～30年に実施された史跡小田原城跡住吉橋保存処理の報告書である。	182	—
第190集	平成20年度試掘調査	2020	平成20年度に実施した試掘調査53件、詳細分布調査の1件の報告。早川で江戸時代の石丁場跡の詳細分布調査が行われ、史跡江戸城石垣石丁場跡の指定につながる成果が得られた。	198	2,000
第191集	高田北之前遺跡第Ⅲ地点	2020	弥生時代後期～古墳時代前期の方形周溝墓が見つかり、墓域としての土地利用が明らかになった調査。壺棺の可能性のある吉ヶ谷式土器が出土している。	74	900
第192集	高田南原遺跡第Ⅲ地点	2020	古墳時代前期の方形周溝墓から、市内初の出土例となる鉄製のやりがんなが出土した調査。	98	1,100
第193集	小田原城三の丸鉄砲矢場第Ⅳ地点	2020	16世紀第4半期以前の三の丸新堀土塁が検出され、近現代に削平された土塁を復元する上での貴重な調査成果が得られた。	58	700

	書 名	発行年	内 容	頁数	価格
第194集	小田原城総構二重外張第Ⅱ地点	2020	小田原城総構の虎口を構成する堀の調査である。堀は、堀障子を境に方向と深さを変えている様子が確認された。	78	900
第195集	酒匂北中宿遺跡第Ⅱ・Ⅲ・Ⅴ地点	2021	弥生時代後期～近世までの土地利用の変遷を確認した。特に第Ⅲ地点では緑釉陶器が多く出土したほか、13世紀のかわらけを伴う溝が検出された。また、第Ⅴ地点では鍛冶関連遺物が出土し、鍛冶技術のある集落の展開が明らかになった。	196	2,000
第196集	平成21年度試掘調査	2021	平成21年（2009）度実施した試掘調査28件の報告。小田原城総構に関する堀や土塁・掻き揚げの痕跡が確認されるなどの成果が得られた。八幡山古郭東曲輪では戦国時代の石積みや硬化面が確認され、後の本格調査で大きな成果につながった。	128	1,000
第197集	永塚長森遺跡第Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ地点	2021	縄文時代から近世の土地利用の変遷を確認。第Ⅳ地点では、古墳時代前期の溝から良好な一括資料が出土し、古墳時代後期以降の住居から機内産土師器が出土した。第Ⅴ地点では墨書土器が出土し、千代寺院跡との関連が注目される調査報告。	196	2,000
第198集	千代南原遺跡第ⅩⅩⅦ・ⅩⅩⅧ・ⅩⅩⅨ・ⅩⅩⅩ・ⅩⅩⅩⅠ・ⅩⅩⅩⅡ地点	2021	第ⅩⅩⅦ～ⅩⅩⅨ地点で検出された1号溝からは木製品が多量に出土し、低地部の土地利用を推定する上で重要な資料が得られた。第ⅩⅩⅩⅡ地点では千代寺院跡に関連する施設が存在が示唆された。	126	1,000
第199集	(最新刊) 小八幡中沢遺跡第Ⅰ・Ⅱ地点	2022	周辺の調査で初めて古墳時代前期の方形周溝墓を検出した。近世の遺構では、儀礼的要素をもつイルカ類の頭・椎骨等を2列に配置した海獣骨列が検出され、その意図が注目される。	134	—
第200集	小八幡酒匂境遺跡第Ⅰ地点	2022	小田原市No.46遺跡で初めての本格調査。古墳時代前期・後期の竪穴住居跡や、近世の掘立柱建物跡を検出した。調査地周辺における古墳時代の集落の様相や、近世の土地利用の一端を知る上で大きな調査成果が得られた。	68	—
第201集	小田原城下欄干橋町遺跡第Ⅵ地点	2022	平成16年度に実施した発掘調査の報告書。1基の土坑から17世紀初頭の陶磁器などが多数出土しており、小田原城下における17世紀初頭の陶磁器の様相を考える上で重要な一括資料。	280	2,000
第202集	別堀十二天遺跡第Ⅲ・Ⅵ・Ⅶ・Ⅸ・Ⅹ・Ⅺ地点	2022	平成19・20・24年度に実施した発掘調査の報告書。遺構は弥生～古墳時代の地割れや大規模な溝、弥生～平安時代各時期の住居跡を検出し、遺物は奈良・平安時代の銅匙が出土するなど、多くの調査成果を得ることができた。	296	2,000
第203集	平成22年度試掘調査	2022	平成22年度に実施した試掘調査52件の報告書。小田原城二の丸南曲輪南堀においては、堀の覆土と石垣と考えられる遺構を検出した。千代南原遺跡においては、奈良・平安時代の土器が多量に出土し、墨書土器も確認された。	196	1,300
第204集	小田原城下瓦長屋跡第Ⅱ地点	2022	平成29年度に実施した発掘調査の報告書。近世の土地の区画を示した可能性のある溝や、中世の建物跡と推測される柱穴等が検出された。	76	800
第205集	小田原城三の丸服部孝太郎邸跡第Ⅱ・Ⅲ地点	2022	令和元・2年度に実施した発掘調査の報告書。築山と石組遺構等からなる戦国期の庭園跡を検出した。市内における戦国期の庭園跡は、小田原城御用米曲輪に続く発見であり北条氏に関連する重要な遺構として評価された。	98	1,000
第206集	小田原城下妙光寺旧境内遺跡第Ⅰ地点、小田原城下感応寺旧境内遺跡第Ⅱ・Ⅲ地点	2023	文久図の記載から、早川口周辺に位置したとされる感応寺・妙光寺の寺域とされる場所で実施した発掘調査の報告書。江戸時代の寺域の造営方法や墓域の展開が明らかになった。	194	1,000

	書 名	発行年	内 容	頁数	価格
第207集	平成23・24・25年度試掘調査－小田原城とその城下関連遺跡－	2023	平成23～25年度に小田原城域で実施した試掘調査32件の報告書。小田原城総構城下張出の調査では堀の掻上げ、小田原城八幡山古郭東曲輪北堀の調査では堀障子を確認するなど、戦国時代の小田原城の一部の様相が明らかに	128	1,000
第208集	平成23・24・25年度試掘調査－小田原市域の遺跡－	2023	平成23～25年度に小田原城域を除く市域で実施した試掘調査138件の報告書。永塚北畑遺跡の調査では、市内1例目となる古代の銅製の銚子が出土した。今井陣場跡の調査では、陣場の堀を検出し、絵図の記載を裏付ける重	390	1,000
第209集	別堀十二天遺跡第Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ地点	2023	平成27・28年度に別堀字十二天で実施した発掘調査の報告書。これまでの周辺の調査成果と同様、弥生～奈良・平安時代の遺構が検出される中、中世の大型溝から多量の牛馬骨が出土し、注目される成果となった。	210	1,000
第210集	池上前畑遺跡第Ⅱ・Ⅲ地点	2023	平成22年度に実施した発掘調査の報告書。文献史料によると、調査地周辺は小田原の中小御家人の一人池上氏の本拠地とされる。調査範囲全域で堀を検出し、周辺の調査成果も含めてその位置づけが今後注目される。	58	—
第211集	小田原城三の丸東堀第Ⅰ地点	2023	平成25年に実施した三の丸東堀の発掘調査報告書。東堀の東側を検出できた貴重な成果となった。今回の調査地は文久図によると東堀りの南端に位置しており、堀が展開している範囲を把握することができた。	68	—
第212集	(最新刊) 小田原城八幡山古郭鍛冶曲輪東堀第Ⅱ地点、小田原城八幡山古郭東曲輪第Ⅱ地点、小田原城八幡山古郭字八幡枝堀第Ⅲ地点・本曲輪北堀第Ⅰ地点、小田原城八幡山古郭三味線堀東堀第Ⅰ地点、小田原城八幡山古郭東曲輪南堀第Ⅰ地点、小田原城八幡山古郭八幡北堀第Ⅰ地点	2024	小田原城八幡山古郭に展開する堀や曲輪で実施した発掘調査の報告書。各地点で戦国時代の堀が発見されたほか、東曲輪第Ⅱ地点の調査では戦国時代の石垣が発見され、重要な成果となった。	144	1,000
第213集	(最新刊) 小田原城下香沼屋敷跡第Ⅸ地点、小田原城百姓曲輪第Ⅲ地点	2024	北条氏綱の子である堀越六郎室の娘と伝わる香沼姫の屋敷があったとされる香沼屋敷跡で実施した発掘調査と、小田原城百姓曲輪で実施した発掘調査の報告書。百姓曲輪第Ⅲ地点では、戦国時代の障子堀が発見された。	64	500
第214集	(最新刊) 平成26・27・28年度試掘調査－小田原域とその城下関連遺跡－	2024	平成26～28年度に小田原城域で実施した試掘調査33件の報告書。小田原城毒榎平北堀、百姓曲輪では初めての調査であり、堀や土塁が確認された。また、諸白小路遺跡第Ⅰ地点の調査では、筋違橋町遺跡の南側においても中世・近世の遺跡が展開することが確認された。	164	1,000
第215集	(最新刊) 平成26・27・28年度試掘調査－小田原市域の遺跡－	2024	平成26～28年度に小田原城域を除く市域で実施した試掘調査105件の報告書。別堀前田遺跡第Ⅳ地点の調査では古代の農具（鋤）が検出され、千代北町遺跡第Ⅴ地点の調査ではカマドをもつ住居跡や古代の千代寺院跡に関連する瓦が検出されたことなどが特筆される。	352	1,000
第216集	(最新刊) 小田原城三の丸弁財天跡第Ⅵ・Ⅶ・ⅧⅠ地点	2024	中世・近世の遺跡が広く展開している場所で、井戸や石列のほか、第Ⅵ地点では堀の一部が発見された。また、弥生～奈良・平安時代の遺構も検出され、当該地周辺の土地利用を考える上で重要な成果となった。	154	—

※価格は、消費税込みの金額です。

※価格欄が「—」の文化財調査報告書は、販売分なし、または残部がありませんのでご了承ください。